

火 町女性消防隊による防災教育 の元に気を付けて

町女性消防隊による防災教育が2月20日、醸芳幼稚園で開かれ、年長組を対象に、紙芝居の読み聞かせや寸劇が披露されました。

紙芝居では、ライターやストーブ、花火など、身の回りにある火の元の危険性や取り扱いについて説明。寸劇では、服に火がついてしまったときや、室内に煙が充満したときの対処法などを実演しました。園児らは、火の怖さを想像しながら、掛け声をかけたり、自分のポケットから取り出したハンカチで口を抑えたりして、隊員と一緒に火災予防について学びました。



▲「防火」と書かれた法被を着用した園児たちと寸劇を披露する女性消防隊

災 救助資機材搭載型消防ポンプ自動車交付式 害対応能力のさらなる向上

町消防団第4分団第4部に対する救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の交付式が2月26日、役場駐車場で行われました。

交付されたポンプ自動車は、消防庁より無償で町へ貸与されたもので、町では、3台目の資機材搭載型消防自動車配備となります。当車両は、エンジンカッターやチェンソーなどの救助資機材が搭載されています。町消防団では、交付された車両を活用した訓練を実施し、地域防災の要である消防団員の災害対応能力の向上に努め、地域防災力の一層の強化を図ります。



▲消防ポンプ自動車を交付された町消防団第4分団第4部の皆さん

醸 ライオンズ文庫購入費贈呈 中生に新しい本をプレゼント

桑折ライオンズクラブは2月15日、醸芳中学校図書室に設置してあるライオンズ文庫の新しい図書購入費用として、目録を贈呈しました。

地域の子どもの知見向上を目的としたこの事業は、今回で8年目。当日は、中学校の図書室で、佐藤徳雄会長から図書委員長の渡邊空さんへ目録が贈られました。渡邊さんは「毎年支援をいただいております。本の好みは人それぞれなので、さまざまな分野の本を増やし、誰でも利用できる図書室にしていきたい」と話しました。



▲佐藤会長から目録を受け取る図書委員長の渡邊さん（写真右）

伸 桑折ライオンズクラブ ヘアドネーション感謝状贈呈 ばし続けた髪を、誰かのために

桑折ライオンズクラブは3月1日、病気やけがで頭髪を失った子どもたちの医療用ウィッグ（かつら）を作るために、髪の毛を寄付するヘアドネーションの活動に参加した八代仁菜さんへ、感謝状を贈呈しました。

仁菜さんは、町広報紙や寄付経験のある友達の姿を見て、同活動を知り、約4年間伸ばし続けていた髪の毛を、美容師である祖母に切ってもらい、活動団体へ無償で提供しました。仁菜さんは「誰かの役に立ててうれしい。また活動に協力したい」と話しました。



▲佐藤会長から笑顔で感謝状を受け取る八代さん（写真左）

農業分野9人目の地域おこし協力隊員 委嘱状交付式



▲高橋町長（写真左）から委嘱状を受け取り、協力隊としての活動に意気込む坂田さん（写真右）

町特産桃の産地・維持継承を目的に、桃農家を目指す地域おこし協力隊の委嘱状交付式が2月27日、役場で行われました。

今回委嘱を受けたのは、東京都から移住された坂田星成さんです。坂田さんは、佐藤親さん（下郡上代）の元で、桃などの栽培技術や農業経営について学びます。

交付式では「まずは、一流の技術習得を第一の目標に、活動していきたい」と決意を述べました。

町の農業部門における地域おこし協力隊は9人目。受入農家の元で研修を受けるとともに、地域振興に協力しながら、「献上桃の郷 桑折町」で、全国に誇れる極上の桃の生産者になることを目指して活動します。

日本一のシラネアオイ群生地を目指して 半田山愛草会が町へ監視カメラを寄贈



▲高橋町長（写真左）に監視カメラを贈呈する半田山愛草会の岡崎会長（写真右）

半田山自然公園に生育しているシラネアオイの保全・育成を行う半田山愛草会から、盗掘を防止するための監視カメラが寄贈され、その贈呈式が2月28日、役場で行われました。

町が寄贈を受けたのは、人感センサーを内蔵し、自動で撮影を行う監視カメラ4台で、夜間も撮影が可能。監視の行き届かない公園内の防

犯に役立てます。

同会会長の岡崎吉一さんは「10年ほど前から、シラネアオイの保全・育成活動に取り組んできた。町の協力も得ながら半田山自然公園を日本一のシラネアオイ群生地にしたい」と話しました。

町は、公園内の対象エリアに監視カメラを設置し、防犯対策の強化を図ります。

広 告

広 告